



# トマト編



病害虫注意報  
2019年7月号

※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

## 育苗期定植時の防除特集

黄化葉巻病は定植後の生育初期に発病株が急増します！

### おすすめローテーション

主な感染時期は育苗期後半から生育初期と考えられています。  
粒剤や黄色粘着板等を活用して防除していきましょう！

対象病害虫	薬剤名	倍率	使用時期	回数	影響日数	
					ミバチ	マルハナ
コナジラミ類・アブラムシ類 ハモグリバエ類	<b>ダントツ水溶剤</b>	2,000～4,000倍 (ハモグリバエ類は2,000倍)	前日	3回	25日	15日
コナジラミ類・ハモグリバエ類 アザミウマ類・オオハナコガ ハスモンヨトウ	<b>カウンター乳剤</b>	2,000～3,000倍 (ハモグリバエ類・アザミウマ類は 2,000倍)	1番花の 開花まで	4回	1日	
コナジラミ類・アブラムシ類 アザミウマ類	<b>ベストガード水溶剤</b>	1,000～2,000倍	前日	3回	10日以上	

## 育苗期・定植時 コナジラミ類 おすすめ防除

※下記粒剤は時期によって**使用方法**が異なります。ラベルをよく確認してご使用ください。

灌  
注  
剤

育苗期後半  
～定植当日

**ベリマークSC 薬量25ml/400株**  
(ハチ影響日数1日) 水量10～20L/400株

※定植3～5日前処理が  
オススメです！

粒  
剤

育苗期  
または  
定植時

**アルバリン粒剤 1～2g/株**  
(セイヨウマルハナバチ：10日 クロマルハナバチ：22日)

※育苗期1回、  
定植時1回ずつ  
使用可能です！

**ベストガード粒剤 1～2g/株**  
(ハチ影響日数30日以上)

※育苗期に処理した場合、  
定植時には使用できません！

粒剤施用例



育苗期 株元処理



定植時 植穴土壌混和

### 物理的防除を併用しましょう！

周辺の雑草や  
野良生え株を除去！

コナジラミの発生源となります！

黄色粘着板で捕殺

株の新芽あたりに  
ぶら下げておくと効果的！

ネットの目合いは0.4mm以下

これより大きい目合いだと  
コナジラミが通過してしまいます

### 登録追加情報

**プロパティフロアブル**

トマト・ミニトマトでも  
使用可能になりました！

【登録内容】

うどんこ病  
3,000倍/収穫前日  
2回以内



### 削除情報

**モベントフロアブル**

灌注登録が  
削除されました！  
(6月26日付)

※散布は引き続き  
使用できます！

